



日立市の風景をどう感じているのでしょうか…



松永さんが作成したオリジナルTシャツ！

芥川賞受賞
おめでとうございます。
ございます。



「芥川賞を受賞した時は、どんな気持ちになりましたか？」
感謝、嬉しさ、それはもちろんあったのですが、自分の中では「繋がった」という気持ちになりました。
14歳の時に母から「ドストエフスキー」を渡されて文学に目覚め、生きる指針が与えられました。そのおかげで、これまでいろいろなことを乗り越えて来られました。自分には「文学」がある、と。
選考会当日は出発前に母の墓前で手を合わせました。
受賞して関西に戻り、再び母の墓前で手を合わせました。あれから30年、読書家だった母からの想いに、少しだけ恩返しができたように思えました。そして日立の地に眠る祖父、祖母のお墓にも報告に行きました。それは家族みんなの想いが繋がった瞬間でした。

「芥川賞では初となる「山岳小説」での受賞となりましたが、テーマを山にした理由は？」
近くに山がある場所に住んでいて、趣味で山を登ります。山登りはレジャーとして楽しむためにに行っているのですが、歩いているとどうしても仕事のこととか、まちでの出来事とかいろいろと考えてしまう。遊びのつもりで来ているのに結局、日常を引きずってしまう…そこに面白さを感じて小説のテーマにしました。
「松永さんが提唱されている「オモロイ純文運動」ってなんでしょうか？」
よくぞ聞いてくれました！
「オモロイ純文運動」とは、純文学はひらかれていて、オモロイのだということを経験の皆さんにわかってもらう文学運動です。僕がひとりで続けている運動なのであまり広まっていないのですが（笑）。
特に子どもたちに伝えたいのですが、ゲームや漫画もおもしろいから続けたくないじゃない



「それが純文学のおもしろさなんです。」
そうですね。これは大人も一緒で、思春期にいわゆる青臭い問題に触れ、大人になっていく。でも誰も答えは見出しておらず問題というのは死ぬまで付きまといっている。もしかしたら人生の中で何かをきっかけにそういう問題にまた向き合うことがあるかもしれない。そういう時に触れて欲しいのが、「純文学」なんです。

芥川賞受賞作家

まつなが けー さん ぞう
松永 K 三蔵さん

1980 年 茨城県水戸市生まれ
2 歳頃までを日立市で過ごす
1990 年頃 毎年夏は母親の実家に帰省し、久慈浜海岸などで過ごした
2003 年 関西学院大学文学部卒業
大学在学中から就職後も、小説を書き続ける
2021 年 第 64 回群像新人文文学賞優秀作『カメオ』でデビュー
2024 年 山岳小説『バリ山行』で第 171 回芥川龍之介賞を受賞
茨城県特別功労賞受賞
いばらき大使に就任
2025 年 4 月 1 日 ふるさと日立大使就任
兵庫県西宮市在住

久慈浜は
自分にとっての

原風景



このシリーズでは「ふるさと日立大使」の皆さんをお一人ずつクロージアアップしてご紹介します。今回、ご登場いただくのは、昨年、第171回芥川賞を受賞した作家の松永K三蔵さんです。
今年4月1日にふるさと日立大使に就任した松永さんに、創作活動や純文学に対する想い、子どもたちへ伝えたいことなどを伺いました。
*インタビューは今年2月20日に行いました。
「松永さんのペンネームの由来はなんですか？」
三蔵は祖父の名前です。僕に文学を教えてくれた母が敬愛する祖父の名を引き継がせてもらいました。松永は親族の名字を借りました。Kはミドルネームですね。親族にKのイニシャルが多かったのでつけました。
「作家を志すきっかけは？」
中学2年生の時に母からドストエフスキーの『罪と罰』を薦められて読んだことがきっかけ

です。
世界の深遠さとエネルギーを文学を通じて体験しました。それはもう、自分の価値観が一変する衝撃を受けましたね。読んですぐに自分も書きたいと思って、翌日ノートを買いに行ったことを覚えています。それからずっと書き続けて、大学卒業ぐらいから賞に応募し始めました。
「作家と会社員の「二足のわらじ」で、活動されていると伺いました。」
やっぱり「書いていて楽しいから、おもしろいから」続けられるんだと思います。
執筆は1日のスケジュールが始まる前の朝にしています。休日は妻と娘が寝ている間に。よく「それは偉いですね」と言われるのですが、楽しいから苦にならないです。前の晩、寝る時に明日の朝に書けると思うと楽しみで仕方ないですね。
今年の春から仕事は辞め、作家活動に専念しますが、書くことに集中できることが今から楽しみです。



お知らせ

工事に伴い市役所本庁舎の出入口などが制限されます



本庁舎浸水対策工事に伴い、令和7年5月から令和9年3月頃まで本庁舎の出入口や駐車場の一部が利用できなくなります。

市民の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

*工事の進捗に応じて利用できなくなる場所が変わりますので、市 HP や工事案内看板をご確認ください。

問合せ 総務課 ☎ 内線 291



健康

人間ドック・脳ドック健診費用補助の申請受付中

市の指定健診機関などで受診する場合に、費用の一部を助成します。



国民健康保険 後期高齢者医療保険

対象 受診する日の属する年度末の年齢が40歳以上で国民健康保険か後期高齢者医療保険に加入している方

*令和7年度中に市の健康診査を受ける方や、令和6年度までの国民健康保険料・後期高齢者医療保険料に滞納がある方などは対象となりません。

*脳ドックは令和5・6年度に補助を受けていない方が対象です。

申し込みの流れ

- ①健診機関へドック予約
- ②受診月の3か月前の月末までに補助申請書を国民健康保険課か各支所に提出（郵送可）、または市 HP から電子申請

*申請書は国民健康保険課や各支所にあるほか、市 HP からダウンロードできます。

- ③受診月の前月に届く補助決定通知書を持参し、健診機関で受診

*申請期限は、毎月5日号の市報でお知らせします（今号は15ページ）。

補助上限額 17,000 円

問合せ 国民健康保険課 国保 ☎ 内線 260
後期 ☎ 内線 204

健康

1年に1回、完全予約制・無料の健康診査を受診しましょう

対象 次のいずれかに該当する方

- ①40～74歳で国民健康保険に加入している方
- ②後期高齢者医療保険に加入している方
- ③40歳以上で生活保護を受給している方
- ④16～39歳で、職場等で健診を受ける機会がない方（集団健診のみ）



市 HP

健診期間

健診の種類	とき
集団健診	5月23日(金)～12月24日(水)
医療機関健診	6月2日(月)～来年2月13日(金)

*集団健診会場＝保健センター、日立メディカルセンター、十王交流センター、多賀市民プラザ、泉が森体育館、久慈川日立南交流センター、中里交流センター

受診方法 5月上旬に郵送される健診受診券（黄色の封筒）をご確認ください。対象となる方で、受診券が届かない場合は、右記QRから申請するか、問い合わせてください。



がん検診を一緒に受診できる「セット健診」

上記対象の方のうち、50～74歳の国保の方は、健康診査と胃がん、大腸がん検診などを一緒にできるセット健診を申込みできます。

40～74歳で社会保険に加入している方へ
保険証の種類によっては、集団健診やセット健診を受けられる場合があります。加入している医療保険者に問い合わせた上で市 HP（上記 QR）をご覧ください。

問合せ 健康づくり推進課 ☎ 21-3300

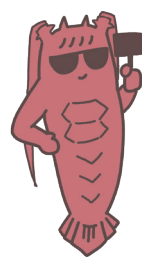


右端に立っているのが幼少期の松永さん



久慈浜海水浴場で遊ぶ幼い頃の松永さん（写真左）

「日立市を題材にした作品の執筆予定はありますか？」
いずれは書きたい、書かなくてはならないと思っています。自分で日立市のまちや人々、生活、風土などを感じて、そこから自分は何を思うのか。感じたものが染み出して創作や物語として組み立てていければと思います。



「最後に、市民の皆さんへメッセージをお願いします。」
「ふるさと日立大使」を拝命し、大変光栄に思います！
日立市は、私の祖父母が暮らし、私に文学を与えてくれた母が生まれ育ったまちで、私にとってかけがえのない大切な場所です。
日立市のことをもっと知って吸収し、情報発信したり、今後の創作にも生かしていきたいと思っています。これからちょこちょこ来ると思うので、ぜひともよろしく願います！

「松永さんの創作活動の源は？」
僕の場合はドストエフスキーから始まって、今でもいろんな文学作品に触れるたびに、やっぱりすごいな、という感動と興奮を感じ、創作のモチベーションになっています。
僕は、生きるとは抗うことだと思っています。純文学を通して、そういった世界の不条理性とか、抗っている人の姿を伝えたいという想いで作品を書いています。

問合せ 広報戦略課 ☎ 内線 293



市長表敬訪問後、応接室でサインに応じる松永さん。ペンやハンコは自前のものでこだわりを感じます。

芥川賞受賞作品「バリ山行」サイン本を1名様
松永さんのサイン色紙を2名様へ
プレゼント

申込みは
5/31まで

右記 QR より、必要事項や松永さんへのメッセージなどをご記入の上、ご応募ください！



*当選結果は発送をもって代えさせていただきます。

